

ASCOJA総会における鈴木副大臣ビデオメッセージ（和文）

シンガポールのみなさん、そしてASEAN各国の帰国留学生会の皆さん、こんにちは。日本の外務副大臣の鈴木貴子です。

第26回目となるASCOJA総会の開催をお祝い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症により、海外留学を含む人と人との交流は大きく制限を受けています。しかし、このような中でも、オンラインなどを活用して交流を維持することは、新型コロナが収束した後の交流を更に活発にするためにも、とても重要です。ギャン・イーセンJUGAS会長を始め、各国の関係者の皆さんの、総会開催に向けたご尽力に、心からの敬意を表します。

現在、国際社会は複雑で多様になっていますが、だからこそ、留学によって、違いを受け入れ、相手を理解することの大切さを肌で経験した皆様の存在は、ますますかけがえのないものとなっています。特に、ASEANを横断する組織であるASCOJAは、日本留学の経験を通して育まれた友情、信頼、学びを、皆様と日本との間の「線」としてだけでなく、ASEAN全体という「面」に広げていく大きな役割を果たしており、日本にとって常に心強い存在です。

外務省としては、ASCOJAによるシンポジウム開催やASCOJA推薦の国費留学生のリーダー育成事業を支援しています。今年度開催された、フィリピンとマレーシアでの分野別シンポジウムや、国費留学生による文化紹介事業「アセアン祭り」は、それぞれ大変好評だったと伺っております。今後もこのような取り組みを力強く支援し、ASEANの皆様との友情を更に発展させていきたいと思っております。

来年は日本とASEANの友好協力50周年の記念すべき年です。50周年の機会に、真の友人としての「心と心の触れあう」相互信頼関係の歩みを振り返り、日・ASEAN関係を新たなステージに引き上げるために、ASCOJAを始め、ASEAN各国の皆さんと更なる交流の促進に取り組んでいきたいと思っております。

最後に、「ASEANと日本のアフターコロナの規範」をテーマとする今回の総会の成功、そして、何よりも皆様のご健勝をお祈りして、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

（了）